

2025年度 第4回 複合型サービスきょうりつ（看護小規模多機能型居宅介護）
運営推進会議

日 程：2025年11月27日（金） 14:00～14:50

場 所：複合型サービスきょうりつ 家族談話室

出席者： 綾部市高齢者支援課：久下 祐介様
中部地域包括支援センター：中野 多加子様
サロン広楽：梶村 隆三様
民生児童委員：梅原 三千代様
複合型（看護職員）：清水 麻里
複合型（管理者）：白波瀬 実

欠席者：なし

1、報告事項

- ・10月度実績：延べ登録者数 28名、 短期利用 0名
- ・平均介護度：3.07
- ・利用地域：黒谷、広小路、篠田、館、大島、位田、味方、栗、駅前、本町、物部、岡、中ノ町、上野、青野、下八田、安国寺、神宮寺、高津川糸、高倉、和木、（新庄）、（寺）（ ）…新規
- ・サービス別 延べ提供数
通い：465回 泊り：197回 訪問（介護）：275回 訪問（看護）：23回
全サービス提供回数：960回（一人あたり週平均サービス提供回数：6.3回）

（前回8月の実績）延べ登録者数 26名 短期利用0名 平均介護度 2.88

通い：382回 泊り：150回 訪問（介護）：234回 訪問（看護）：14回
全サービス提供回数 780回（一人あたり週平均サービス提供回数 5.4回）

- ・利用状況…新規利用者3名（退院後2名、居宅介護支援から紹介1名）
終了・中断利用者1名
- ・サービスごとの特徴
通いサービス…1日平均 15.0回（前回 12.3回）
泊りサービス…1日平均 6.4回（前回 4.8回）
訪問（介護）…1日平均 8.9回（前回 7.5回）
訪問（看護）…1日平均 0.7回（前回 0.5回）
- ・利用者の状況…喀痰吸引や胃ろう管理、CVポートなど医療処置や介護量が多い重度利用者が増えている。医療面の支援を柔軟に行い家族介護の負担を軽減している。
- ・ターミナルケア…10月施設で1名の看取り支援を行った。
同じ建物の診療所から自宅や施設で訪問診療を受け、看護職員と連携して病状の管理を受けた。毎週末に家族の帰省に合わせて送迎を行い、直前まで帰宅し住み慣れ地域での支援を行うことができた。

2、介護サービスの状況。

身体機能には障害が無いが、認知機能の低下により要介護認定が高くなる場合あり。地域のサロンでも認知症高齢者の受け入れを行っている。要介護認定が3以上になると一人での外出が難しくなる。年末年始は介護事業所の休業により介護サービスの調整が困難なケースあり。民生児童委員が関わる地域での看取りや、在宅介護の環境が整わず施設入所された方もあるとのこと。

全国的に訪問介護事業所の数や体制が不足傾向。経営面や人材不足が原因と考えられ、医療・介護従事者の処遇改善も必要。様々な業種に外国人労働者が増え、綾部市でも多く見られるようになっている。

3、地域の状況・課題・要望・助言等

地域包括支援センターへの相談内容について、独居で家族が心配されているが本人は「まだ大丈夫」と頑張っておられることあり。1日に10件の新規相談が入ることあり、地域の中で包括に相談する流れが定着してきたと思われる。介護予防として機能訓練ができるサービスがあるが、利用に繋がらないこともあり。

地域の取り組みとして、食事会を開催することで高齢者の見守りの場となっているが、参加できなくなる方の対応に苦勞することあり。閉じこもり傾向の方には積極的に訪問しているが限界がある。新型コロナがきっかけで近所の繋がりが少なくなってきた。

また、サロン運営側から助成金について意見交換。内容や金額の充実について要望が出された。

民生児童員とケアマネの情報共有の課題について、気になる方がどのような介護サービスを受けているのか分からないことや、訪問看護側から地域の見守りをお願いすることもあり、連携がスムーズに出来ていない状況あり。個人情報の取り扱いによる問題もある。

4、その他

- ・運営推進会議における外部評価…年度内に評価を行う。

○ 次回、運営推進会議日程 2026年1月23日（金）14時～
※第4金曜日

以上